

箏 四 重 奏 曲

作曲年 1973年 委嘱者 ー 構成 箏 I・II・III・十七弦 時間 12分 出版楽譜 ミュージックエス
解説 この曲はちょうど洋楽の弦楽四重奏のように、非常に緊密な楽器構成で隙がない。全体は切れ目なく演奏されるが、大きくは四つの部分に分けることができる。第一は、まず三面の箏のピチカットによる美しいテーマで始まります。即興曲風に展開されることが多い沢井忠夫作品の中ではめずらしい、構成の意図がはっきりしており、各パートがきわめて緊密に構成された美しい曲です。1973年作曲。[小島美子]
収録媒体 LP 沢井忠夫作品集・風の歌 (TH-9106)